

通所支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日：令和 3年 2月 5日

公表：令和 3年 2月 26日

事業所名 日の出こども園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用者の年齢、人数に合ったスペースが確保できています。ただ走り回れる広さではない為、天気の良い日は屋外活動(公園)を取り入れるなどして工夫しています。
	2 職員の配置数は適切である		○	支援過程での職員のスキル目標を、子ども3人に対し1名を掲げている為
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		それぞれの特性を配慮し環境を整え工夫しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		建物は白を基調にしておりきれいです。特に児童が直接触れる箇所は毎日消毒をし、定期的に換気をして感染にも配慮しています。相談室(学習室)もあり、静かに過ごしたい時にも対応できる空間を用意しています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		目標をもった支援と支援後は職員で内容等を振り返り見直し改善を図っています。さらに現状をより良くするための工夫を心掛けていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に一度、保護者等向け評価表を用いてアンケート調査を実施し、保護者からの情報を得たり、事業所の活性化と安全に繋いでいます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	事業所評価・保護者評価で留まっており、第三者からの評価としては実施できていません。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		市・県からの研修、講習会に参加し、指導員の質の向上に取り組んでいます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		契約時にアセスメントをとり、年度初めに簡単なアセスメントをとっています。また、モニタリング時に相談・助言等を行い、さらに情報共有と共通理解を深めています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		契約前にアセスメントをとり、子どもの状況や様子に変化があった時は保護者・指導員からの聞き取りをして連携が摂れるようにしています。
	11 支援計画には、支援ガイドラインの「提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		それぞれの特性、状況を配慮し、保護者・指導員と話し合いの元、目標と支援内容を設定しています。
	12 支援計画に沿った支援が行われている	○		目標に沿った支援を心掛けています。子どもの状況や様子に変化があった時は指導員と話し合い支援内容を見直し、成長に合わせた支援を心掛けています。
	13 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎月、職員全体で打ち合わせをして案を出しています。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節の行事や子どもに必要な活動、楽しめる活動を考えています。マンネリ化しないように新しいイベントを取り入れるように工夫しています。※現在はコロナで難しいものもあります。
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成している	○		未就学児からの利用がある為、そういった環境も活かして支援計画を作成しています。
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援中の出来事、それに対する支援方法、その結果等を振り返り、支援の質を見直しその日の支援に繋げています。

	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	支援終了後にはその日の出来事を振り返り、子どもの変化や様子について話し合いをしています。また、今後の改善方法を考え、実践できるように全スタッフに情報を共有しています。
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	子どもの様子や変化、対応の方法を記録しています。スタッフで情報共有と共通認識をし、今後の支援方法を決定していきます。
	19	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断している	○	最低6か月に1度のモニタリングを実施し子どもの現状や今後の支援や対応等、保護者と共有し統一した支援が出来るように話し合っています。
関係機関や保護者との連携	20	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○	現在、医療的ケアが必要な子どもはいませんが、受け入れる場合には連絡体制を作り安心して通所できるように整備していきます。
	21	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	降園、下校のお迎え時に担任と情報共有ができていない保育所、幼稚園もありますが、全ての保育所、幼稚園が十分に時間がとれていない為、連携を強めていけるように働きかけていきたい。
	22	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	降園、下校のお迎え時に担任と情報共有ができていない所もありますが、全ての小学校が十分に時間がとれていない為、連携を強めていけるように働きかけていきたい。
	23	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	担当の専門機関の先生と連携をとり助言やアドバイス等を受けている。
	24	小学校、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	公園や社会参加で遊びを共有する時間を設けているが、施設の活動内容としては取り入れていません。
	25	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	積極的に参加し、情報交換できる場を増やしていきたいと考えています。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	日々の送迎時、事業所LINEで児童の支援中の画像と共にその日の様子や成長、変化等を伝えて共通理解を得ています。
保護者への説明責任等	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○	送迎時等直接話をする機会や事業所LINEでやり取り、または電話や事業所内での相談を受けやすくし支援を行っていきたくと思っています。
	28	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	主には契約時に伝えていますが、変更時には適切な説明を心掛けています。
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	悩みや相談に応じています。その時のお子さんの様子に合わせた助言をするよう心掛けています。
	30	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	親子参加のイベントや、保護者会での交流に取り組みたいと思っていますが、コロナ禍で人数が多くなるイベントは控えています。
	31	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	相談や申し入れに対応できる体制を整えていますが、スタッフ不足が続いたため対応できない部分も多かったです。2月半ばよりスタッフ人数も整い、改めて体制を整備していきたいと思っています。
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	毎月、事業所行事予定表を配布し保護者との連絡を取っています。別で会報等発行し事業所の内容や情報を発信していきたいと考えています。
	33	個人情報の取扱いに十分注意している	○	個人を特定できるような情報を漏らさないよう配慮し、職員周知を徹底しています。

非常時等の対応	34	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	送迎時に直接話をしたり、電話や事業所LINEで保護者の不安・悩みを取り除くために連携と配慮をしています。
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	ハロウィンイベントでは近所の商店街を周り交流を図っていますが、事業所の行事として招待等は出来ていません。今後の目標にしていきたいと思います。
	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	完全な周知と訓練は出来ていない。緊急時の対応はいつ何が起こっても対応できるように体制を整えていきたいと思います。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	毎月避難訓練を実施しています。
	38	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	契約前に状況を確認し、対応可能なものであるか確認をしたうえで契約をしています。また、処置方法や注意事項を把握して対応しています。
	39	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	処置方法や注意する点を把握して対応しています。
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	直ぐに報告書の記入をすることを徹底し、職員全体で対策と改善に向けて実施しています。
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	今後、事業所内での勉強会や研修の機会を設けて適切な対応を心掛けていきたいと思います。
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	事業所内での話し合いを設け、活動中にどのような配慮がされているか確認をしながら、子どもの成長に合わせた対応を決定していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。